

## 第6回清瀬市補助金適正化検討委員会会議録（要旨）

会議名：令和4年度 第6回 清瀬市補助金適正化検討委員会

事務局：企画部財政課財政係

開催場所：清瀬市役所（4階） 研修室1～3

日時：令和4年11月15日（火曜日）

午後6時30分～午後7時55分

出席者：委員9名（星野委員長、菅原副委員長、花井委員、松井委員、  
櫻田委員、岩崎委員、山村委員、高橋委員、山崎委員）

※高橋委員はZOOMでの出席

その他4名（企画部長、財政課長、財政課財政係長、他1名）

欠席者：1名

傍聴者数：0名

会議次第

1. 開会
2. 第5回議事録（要旨）の確認
3. 議題
  - （1）補助金適正化の検討について
  - （2）その他
4. 閉会

## 審議経過

### 1. 開会

委員長より開会の挨拶

### 2. 第5回議事録（要旨）確認

委員長が各委員に対して確認し、各委員が了承。

### 3. 議題

#### （1）補助金適正化の検討について

前回に引き続き、資料9をもとに各補助金の検討を行い、以下のとおり評価を行った。

番号	補助金名	評価	意見
65 ・ 69	特別支援学級校外宿泊訓練補助金 (小・中学校)	その他	特別支援学級を通常学級と合同で行事を行っていくなれば、通常学級の児童・生徒への補助金で対応できるため、縮小・廃止をしていくべき。 通常学級と合同で学習を進めることは、健常者と障害者の双方に学びがあるが、支援が必要な児童が疎外感を覚えたり、事業に参加できなくならないよう慎重に進めてもらいたい。
63 ・ 67	移動教室補助金 (小・中学校)	現状維持	今後の物価高騰の影響がわかり状況だが、児童・生徒数が減少していくなら、現状維持が妥当である。移動教室に対する負担軽減策は効果的だが、補助額については、適宜見直しを行い、適正化を図っていく必要がある。 義務教育の無償性を高める意味でも、現状を維持していく必要がある。
104 ・ 109 ・ 114	清瀬市保育士等キャリアアップ補助金	現状維持	保育士不足の解消がされない中、この補助金により保育士の勤続年数が伸び、離職率の改善にもなることから、現状維持で継続していくことが妥当と判断した。 都補助金事業ではあるものの、公立保育施設で働く保育士のキャリアアップや処遇改善へのスライドさせる義務が伴うことを自覚することが必要である。 補助額は市民の在園数が今後、減少傾向にあるということなので、現状維持が妥当と判断した。

番号	補助金名	評価	意見
23	私立保育園等運営費	現状維持	当初予算額では不足して流用や補正が生じているものの、今後、少子高齢化に伴い児童数の減少が予測されることから、現状維持とした。 この制度により各園の格差が解消され、保護者が安心して預けられるような環境を維持して欲しい。
47	清瀬市産業を生かした観光ルート整備事業費補助金	現状維持	コロナ禍で開催できていないので、まずはこれまでやってきた形で開催できるようになることを最優先とし、当面は現状維持とした。ただし、せっかく大きなイベントに育っているので、将来的には拡充の方向性で検討すること。 清瀬市の産業を活かし、事業を通じて観光の開発や振興を目指して欲しい。
48	清瀬市商工会等補助金	現状維持	減少傾向にあった会員数を回復させるなど努力をし、コロナ禍において商工会は中小企業者の相談者として活躍している。 景気回復後に会員数が減少することも考えられるので現状維持とした。
72	石田波郷俳句大会助成	現状維持	出前教室等を実施することで、児童・生徒の語彙力向上には寄与しており、他自治体と比較しても補助額も概ね妥当である。 石田波郷と市の繋がりは理解できるが、この事業が市の文化的発展・発信に貢献しているのか、また市でやる必要性について疑問が生じる。
76	体育協会補助金	現状維持	スポーツの普及・発展には必要だが、前回の答申で「見直し」とされているにも関わらず、運用に問題なかったことを理由に改善等の努力をしていない。 所管課が体育協会の活動について認識が不足しており、補助金に見合った活動をしているのか判断できていない。
12	社会福祉協議会運営費補助金	現状維持	会計年度任用職員に対する期末手当を支払うなど、適正な制度運用をしているが、働く職員の定期昇給など補助金の要望を市へ伝える組織力の強化が必要である。また、福祉分野は人材が不足する中、多くの課題に取り組んでいることから、市と連絡を密にとるなど、関係性を築くことが必要である。

番号	補助金名	評価	意見
17	老人クラブ助成	現状維持	老人クラブの意義・運営・補助のあり方を再検討していくべき。会員を増やすことのメリットを明確にしていけば、問題なく運営され则认为る。 老人クラブへの参加は対象人口のうち一部であることから、できるだけ多くの高齢者に助成の恩恵が届くようになると、さらに良い事業となると感じる。
35	清瀬市子育てキラリクーポン券事業補助金	現状維持	子育て世帯の負担軽減には必要だが、見直すべき部分もいくつかあるため、定期的な検討をすること。食材等が価格高騰する中、給食費に使えるクーポンは、子育て世帯の定着に繋がっている则认为る。
36	清瀬市子供食堂推進事業	現状維持	子供食堂の開催場所に地域の偏りはあるものの、単なる子どもに食を提供するだけでなく、居場所づくりや虐待の早期発見にも繋がることから、重要な事業だと考える。 制度拡充により、事業の効果・サービス向上に直結するならば、予算の増額も効果的ではないか。

(2) その他

次回以降の検討内容や日程について確認した。

4. 閉会